

伏見西部第四地区 Q&A

Q. 「伏見西部第四地区見直し検討委員会」での事業見直し検討を経て、平成22年10月に事業計画変更が行われましたが、その後、横大路の住宅地域で工事や移転があまり進んでいないと思います。どうしてですか？

A. 事業計画は、道路、公園、水路といった公共施設の配置計画など、事業のアウトラインを定めたものです。事業の見直し検討の後、平成22年10月に事業計画を変更しました。

引き続いて換地設計（皆様方の土地を再配置する計画）を作成し、皆様方のご意見を頂く機会である「縦覧」を経て、平成24年2月に土地の再配置計画（換地設計）が確定しました。

土地区画整理事業の建物移転や道路工事は、確定した換地設計に基づいて行うため、特に府道京都守口線から西側の横大路住宅地域では、これまで道路工事等が目に見えるかたちで進んでいませんでした。

今後は、本通信の裏面でお知らせしているとおり、横大路小学校移転予定地の周辺道路をはじめ、外環状線側道や横大路中通の整備など、住宅地域での事業を順次進めていきます。



Q. 外環状線は、羽束師橋に向かう本線は整備されていますが、南側と北側の側道が整備されていません。これら側道は、どのように整備していくのですか？

A. 外環状線では、南側の側道を先行して整備します。南側の側道は、平成25年度に水路工事の一部を行い、平成26年度は下水道管を移設します。平成27～28年度には、外環状線の南側側道と本線に接続する部分の道路工事に着手する予定で、その後、早期の開通を目指します。北側側道についても順次整備を進めていきます。

Q. 横大路小学校の移転に先立ち、移転予定地の周辺道路を整備すると聞きましたが？

A. 横大路小学校は、洛水高校の北側の場所に移転する予定であり、現在は別々の場所にある、校舎と運動場を一体として整備します。しかし、現在の移転予定地周辺には、工事に必要なアクセス道路が整備されていません。

現在の生活道路に工事車両が流入し、皆様の安心安全な生活環境を確保するため、小学校移転予定地周辺の道路拡幅や新たな道路整備などを、小学校移転に先駆けて行う必要があります。



お願い

- 土地区画整理事業施行地区内では、土地の盛土、切土を含む建築行為等について制限がかかりますので、事前に当事務所へご相談ください。
- 住所変更、名義変更などをされた方は、ご面倒をおかけしますが、当事務所へご連絡いただくようお願いいたします。



発行：京都市南部区画整理事務所

住 所：京都市伏見区下鳥羽但馬町 134 番地
電 話：075(601)6181 FAX：075(601)8522
ホームページ：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000171480.html>

「伏見西部第四地区について」で検索

伏見西部第四地区

平成26年12月発行
第11号

区画整理通信

安心・安全で住みよいまちづくりへ



皆様方には、平素から土地区画整理事業にご協力をいただき、たいへんありがとうございます。

土地区画整理事業で整備する道路、水路、公園は、社会基盤施設であるほか、災害時の避難路や大雨による浸水などの被害を軽減する役割を担っています。

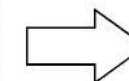
平成25年9月の台風18号や今年も台風等の大雨などにより、京都市内でがけ崩れや住宅への浸水など、大きな被害が発生しています。こうした水害などの発生を防いだり、被害を軽減するためには、土地区画整理事業のなかで水路や道路側溝を整備していくことが、より大切になっています。

こうした面も含め、道路では都市計画道路 横大路淀線が平成26年5月に完成し、水路では府道京都守口線の西側にある水路の一部を改修して、水路と歩道を一体で整備しました。

道路、水路、公園などの整備が進むことにより、住民の皆様にとって住みよいまちづくり、より安心・安全な生活環境の実現につなげてまいります。



完成した道路（横大路淀線）



12-2号水路工事と京都守口線歩道改良工事（左：施工前、右：施工後）

横大路小学校移転推進の要望書が提出されました

横大路小学校の移転推進に関する要望書が、平成26年4月2日、横大路まちづくり協議会 中川 一雄会長をはじめとする皆様から、門川市長に提出されました。

横大路小学校は、校舎と運動場が離れているため、移転新築が地域の長年の懸案となっており、4000名近くの皆様の署名が集められました。

横大路小学校の移転には土地区画整理事業の促進が不可欠であることから、引き続き、地権者並びに地域の皆様方のご理解とご協力を得て、横大路小学校の早期移転の実現に努力してまいります。

横大路中通や外環状線側道などの早期整備に向けて

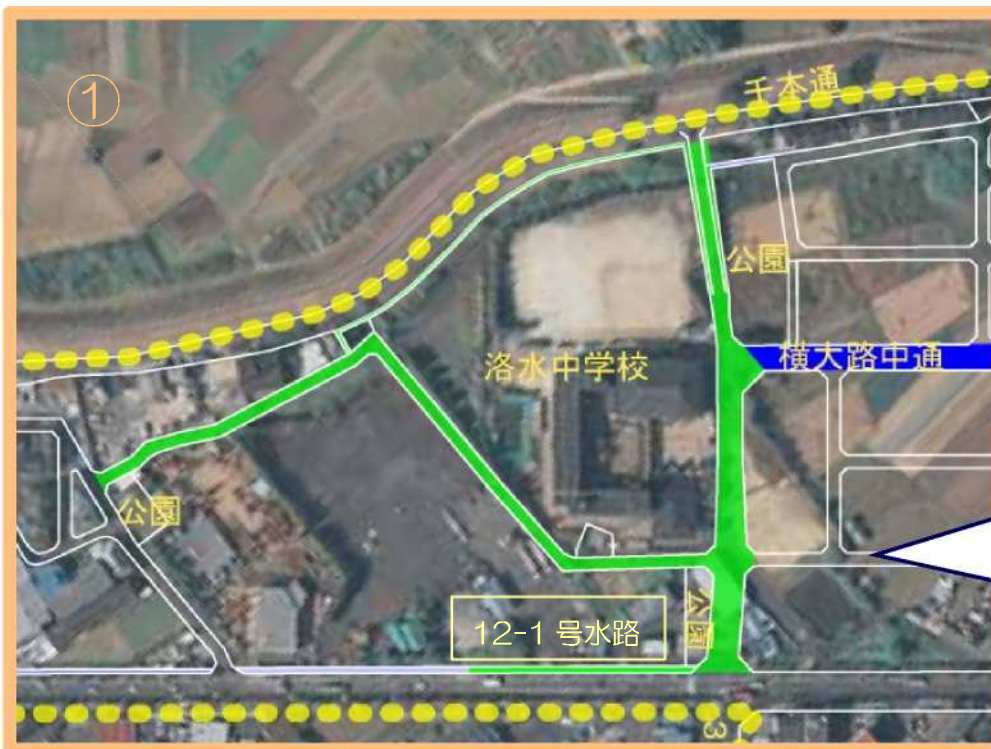
区画整理通信第10号では、今後の面的な整備予定として「重点的に整備予定の区域」をお知らせしましたが、内容を更新しました。加えて、重点的に整備する横大路中通や外環状線側道などの整備の進め方について、早期の横大路小学校移転等を踏まえた今後の「速やかに取り組む路線」（図内の緑色で示した箇所）も含めてご紹介します。

今後の整備予定



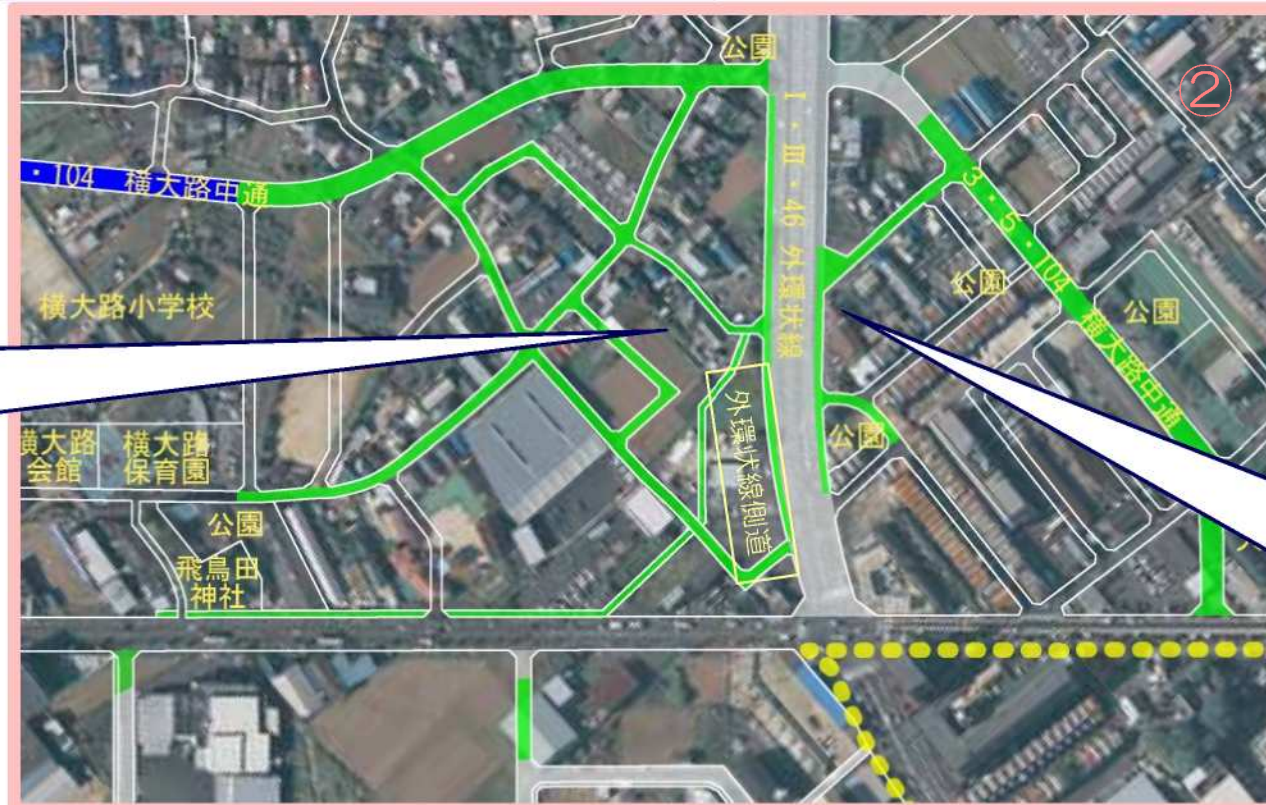
重点的に整備予定の区域

- ①横大路中通の整備（洛水中学校付近）
- ②横大路中通（外環状線付近）及び外環状線側道の整備
- ③府道京都守口線東側区域での幹線道路等への接続



横大路中通の整備（洛水中学校付近）

横大路中通を南端部から整備するため、洛水中学校の一部を移設し、周辺区画道路や水路を整備するほか、府道京都守口線と千本通を接続します。



府道京都守口線東側区域での幹線道路等への接続

府道京都守口線、外環状線の主要な幹線道路に接続する道路や水路で未完成の区間のほか、残りの道路等の整備を進めていきます。

上部中央図 ①，②，③等

横大路中通の整備（外環状線側道接続付近）

安全安心な生活環境を確保しつつ、横大路小学校建設や住宅等の移転を行えるように、横大路中通だけでなく、小学校移転予定地の北側周辺道路や水路を先行して拡幅・整備します。

外環状線側道の整備

外環状線の南北側道を本線まで整備することで、横大路の住宅地域が幹線道路（府道京都守口線、外環状線）につながり、より便利になります。

完成済み箇所
速やかに取り組む路線
重点的に整備予定の区域
概ね10年を目標に整備する幹線道路

